

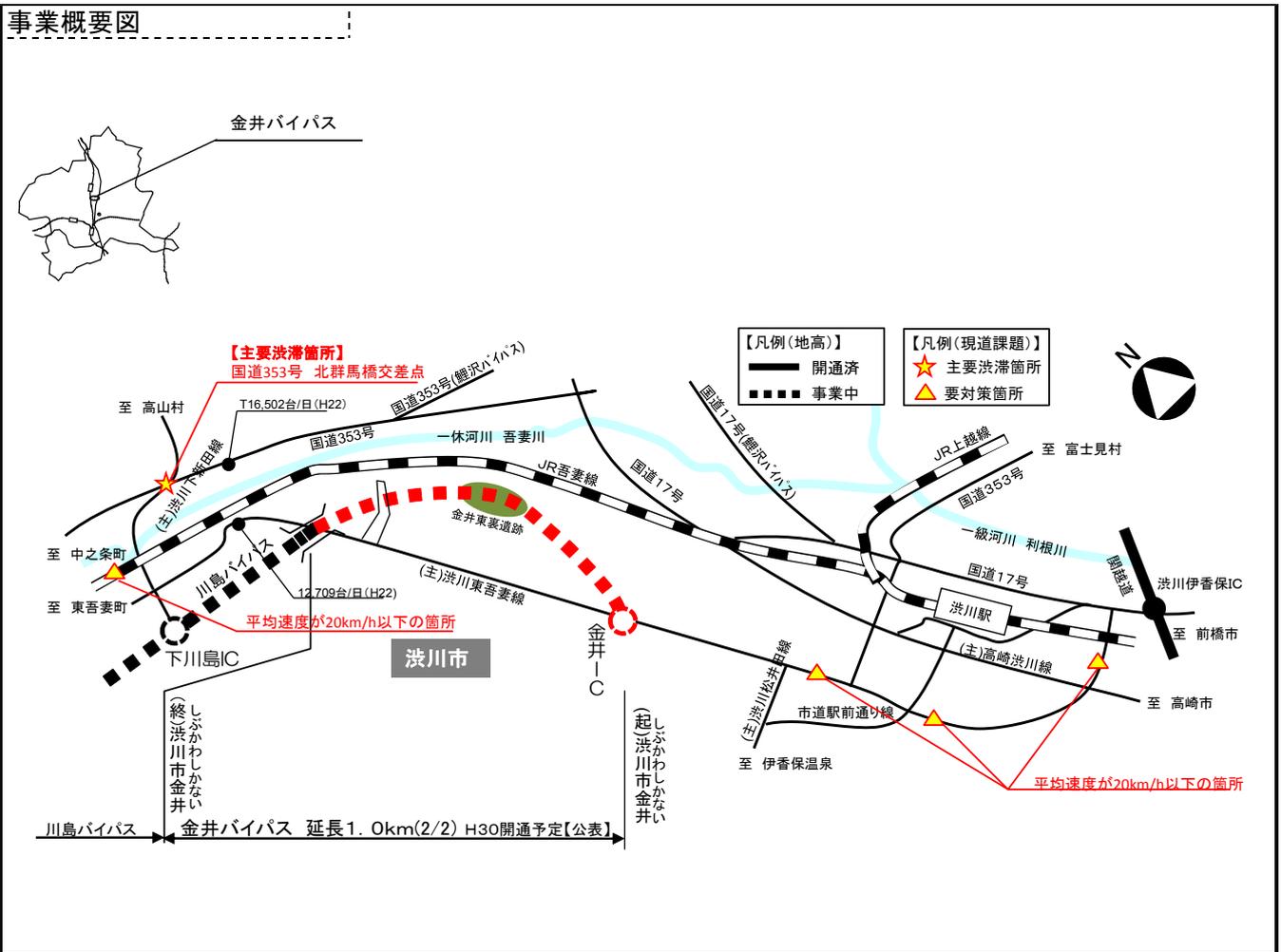
## 再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名 地域高規格道路 上信自動車道 一般国道353号 金井バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 群馬県	
起終点 自：群馬県渋川市金井 至：群馬県渋川市金井	延長 1.0 km		
事業概要 一般国道353号金井バイパスは、群馬県渋川市の関越自動車道・渋川伊香保ICと長野県東御市の上信越自動車道・東部湯の丸ICに至る延長約80km「上信自動車道」の一部を形成し、渋川市内の慢性的な交通渋滞を解消し、安全で安心な県民生活を確保するために欠くことのできない重要な地域高規格道路である。			
H17年度事業化	都市計画決定なし	H23年度用地着手	
H24年度工事着手			
全体事業費	53億円	事業進捗率	
		47%	
計画交通量	16,600台/日	供用済延長	
		0km	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 4.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 21/53億円 (事業費) 20/52億円 (維持管理費) 1.0/1.0億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 92/92億円 (走行時間短縮便益) 52/52億円 (走行経費減少便益) 33/33億円 (交通事故減少便益) 6.6/6.6億円
基準年	平成26年		
感度分析の結果 (事業全体) 交通量 : B/C=1.5~1.9 (交通量 ±10%) (残事業) 交通量 : B/C=3.9~4.8 (交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.7~1.8 (事業費 ±10%) 事業費 : B/C=4.1~4.6 (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.6~1.9 (事業期間±20%) 事業期間 : B/C=4.0~4.8 (事業期間±20%)			
事業の効果等 ・地域高規格道路「上信自動車道」の一部であり、吾妻地域の産業競争力の向上に寄与 ・災害に対する道路の信頼性が向上し、地域の防災力が強化されるほか、三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる ・草津温泉等の観光地へのアクセス向上が見込まれる			
関係する地方公共団体等の意見 ・渋川市をはじめとする3市4町2村の首長や議会議長等で構成される「上信自動車道建設促進期成同盟会」より、当該路線の整備促進の要望を受けている。			
事業評価監視委員会の意見 ・群馬県公共事業再評価委員会(第37回平成26年10月22日)において審議の結果「事業継続」が答申された。 ・知事は、上記委員会の答申を踏まえ平成26年11月7日「事業継続」の対応方針を決定。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成23年3月19日に北関東自動車道が全線開通したことにより、群馬県内の高規格幹線道路網が完成。 ・平成23年12月20日に上信自動車道の一部区間である八ッ場バイパス(L=10.8km)が全線暫定供用した。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・平成17年度に事業化され、用地進捗率90%、事業進捗率47%となっている。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・金井東裏遺跡の埋蔵文化財調査において、古墳時代の甲着装人骨をはじめ4体の人骨のほか、馬具、赤玉、古墳などが発掘され、重要な遺跡との判断から現地保存とすることとなった。このため、当初の盛土構造から橋梁構造への計画変更に伴い、開通時期が3年遅延し平成30年度となる見込みである。			
施設の構造や工法の変更等 ・近接工区との土工量収支に配慮し、処分費低減・残土の有効活用に努め、コスト縮減に努めている。			
対応方針	事業継続		
対応方針決定の理由	・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。